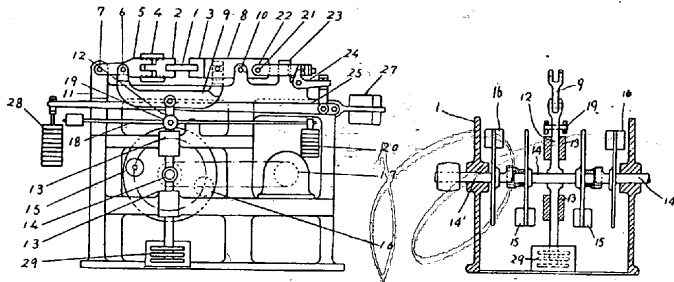


特許出願公告及特許拔萃

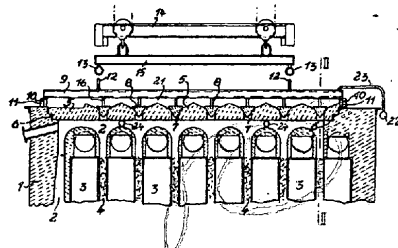
特許公告拔萃

複合疲勞試驗機(昭和15年特許出願公告第1121號,公告15-3-15,東京,財團法人理化學研究所)本發明は圖に示す如く機枠に二つの挺子を一直線上に配設し之等挺子の相對向する腕に依り試驗片を梁狀に支持せしむべくし前記二つの挺子の對向腕に同時に

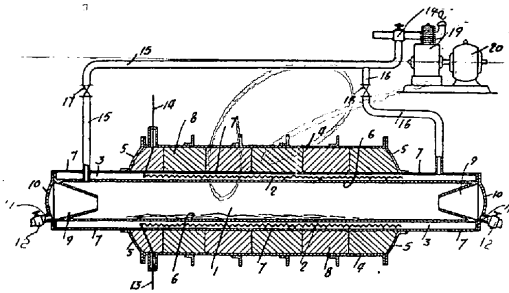


動荷重に依り反對方向の曲げモーメントを加ふべき繰返し荷重装置と前記對向腕に靜荷重に依る曲げモーメントを加ふる装置とを設け且前記挺子の少くとも一方は試驗片の長手方向に變位し得る如くし該長手方向に靜荷重を加ふべき装置を設けた複合疲勞試驗機に係るもので強度の異なる繰返し曲げ應力と靜荷重に依る引張應力及曲げ應力を加へ其の複合應力に依る試驗片の疲勞強度を測定せんとするものである。

特に乾溜爐の裝填口の閉鎖装置(昭和15年特許出願公告第1151號,公告15-3-15,獨逸エデュアルド,クル)本發明は圖に示す如く閉鎖装置を二部分(5)(9)より構成し裝填口を直接被覆する一方の部分(5)を熱絶縁に中間室により前記部分より分離せられたる外方の部分(9)をガス密封に用ふべくした特に乾溜爐の裝填口の閉鎖装置に係るものである。



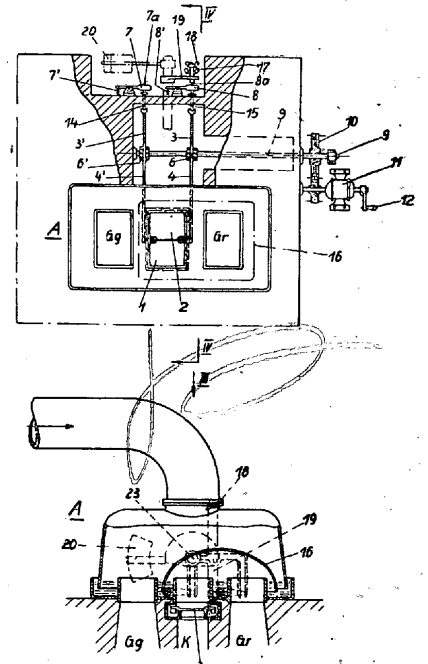
冶金爐(昭和15年特許出願公告第1152號,公告15-3-15,佛國,ソシエテ,デレクトロヒミイ,デレエレクトロ,メタラージュ)本發明は圖に示す如く密閉せる反應室(1)と該反應室を包圍する密閉容器(3)と該容器を高熱ならしむる装置(13)(14)(2)と反應室及容器内を同時に真空ならしむる装置(15)(16)(19)(20)と前記反應室と連通する凝縮器(9)とを具備した冶金爐に係るもので反應室及凝縮器間を任意に遮斷或は連通せしめ得特にアルミニウム,マグネシウムの如き揮發性材料を含有する原礦よりかゝるものを蒸發採取するに適するものである。



導電用銅合金(昭和15年特許出願公告第1155號,公告15-

3-15,株式會社日立製作所)本發明はCd 0.01~2%, Ag 0.05~2% Mg 0.01~1%, 殘部Cuを含有する導電用銅合金に係るもので導電率硬度抗張力大で軟化温度高く均質な導電用材料を容易に得らるゝの効果を有する。

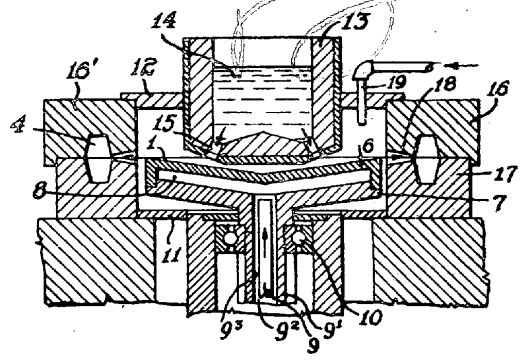
再生爐の逆轉装置(昭和15年特許出願公告第1153號,公告15-3-15,獨逸オットー,ライネル)本發明は圖に示す如くガス室の排泄ガス路内に遮斷装置を設け該遮斷装置は逆轉前徐々に閉鎖せられて暫時排泄ガスを空氣室のみを通して吸引せしめ且逆轉後再び徐々に開放せしめらるる如く制御せらるゝ様なしたもので別々のガス供給装置及空氣供給装置を有する再生爐に用ふる熱ガス空氣並に排泄ガスの流水を逆轉する装置である。



回轉爐製鉄方法(昭和15年特許出願公告第1154號,公告15-3-15,日本製鐵株式會社,大阪窯業セメント株式會社)本發明は回轉爐製鉄法に於てコークス,コーライト,無煙炭等の還元用物質を回轉爐の還元帶又は熔融帶に於て回轉爐の内部に補給する事を特徴とする方法で爐内原料の還元狀況に應じ還元用物質を補給し酸化鐵の不完全還元及還元鐵の酸化を防止熔融の生成を容易ならしめ操業を圓滑ならしめたるものである。

他の金屬鋇を同時に被着せしめつつ金屬塊を連續鑄造する方法(昭和15年特許出願公告第1209號,公告15-3-20,獨逸フェライニヒテ,ライヒトメタルウエルケ,ゲゼルシャフト,ミット,ベシユレンクテル,ハフツング)本發明は特許第131162號發明の追加發明で被着鋇を鑄造臺上に鑄型の内壁面に接して載置し鑄造臺と共に鑄造中連續的に短き急冷鑄型中を下方に移動せしめつつ他の金屬鋇を同時に被着せしめつつ金屬塊を連續鑄造する方法で鑄塊に鑄造と同時に他の金屬鋇を被着せんとするものである。

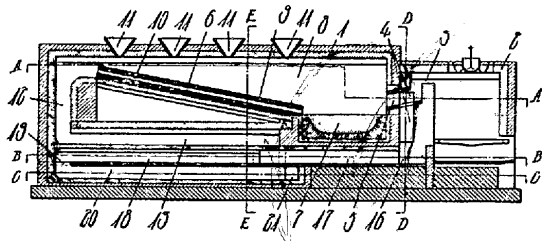
熔融金屬より金屬製品を製造する装置(昭和15年特許出願公告第1211號,公告15-3-20,米國,ジョセフ,マルセル,メル)本發明は運動支持面上に熔融金屬の薄膜を形成しこの運動薄膜を該金屬の凝固點以下の所定温度に於ける



准安定状態に過冷しこの過冷運動薄膜を不支持状態に於て連続移動せしめて前記准安定状態より自然結晶せる粒子を形成せしめこの粒子より製品を製造するに當り前記薄膜を形成すべき運動支持面と該薄膜を所定温度に過冷する装置と該薄膜を不支持状態に於て運動せしむべき装置と粒子を所定の形状に壓詰すべき鑄型とを具備せしめた熔融金属より生成した粒子で金属製品を製造する装置に係るものである。

反射爐 (昭和 15 年特許出願公告第 1231 號, 公告 15-3-20, 大阪, 關三郎外二名) 本發明は圖に示す如く石炭ガス發生爐を直結した熔解室

の加熱床を前方低く後方高く傾斜せしむると共に加熱



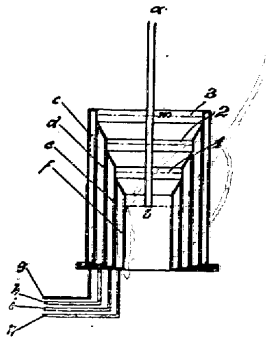
床上の熔道をして後部に向ひて順次狭縮せしめ且加熱床上面に縦方向に隆起する如く山形の横断面を有する一個又は數個の遮壁を設けて其の内腔に熔解室の熔の一部を分流せしむべし前記遮壁の直上位に於て熔解室壁に鑽石供給口を並設した反射爐に係るものである。

酸化鐵の還元精製爐 (昭和 15 年特許出願公告第 1232 號, 公告 15-3-20, 大阪, 松川達夫) 本發明は傾斜床を有する反射爐に於て傾斜床の下部にその底部に孔穴を持つ隔壁を設け熔融状態に於ける還元鐵と鐵滓を分離し得る様構成した精製爐に係るもので砂鐵等の酸化鐵を還元し熔鐵のみを爐内に蓄へて注出に適當な流動性を持つ温度に加熱し石灰等の熔剤にて熔鐵を被覆し精製を行はしめ得る様なしたものである。

ナトリウムを含有するアルミニウム又は其合金よりナトリウムを除去する方法 (昭和 15 年特許出願公告第 1233 號, 京都, 原田隆康) 本發明はナトリウムを含むアルミニウム又は其合金を 850~1,100°C に於て加熱熔融しつつ酸素窒素又は弗素等のガスを導入し或は之等のガスを發生して同様の効果を呈する鹽類を投入して熔融液を攪拌し之等の併合作用に依りナトリウムを除去する方法に係るものである。

連續作業行程に於て製作せられたる異なる横断面形を有する鑄物の鑄造法 (昭和 15 年特許出願公告第 1289 號, 公告 15-3-25, 獨逸, ジークフリート, ユングハンス) 本發明は圖面に示す如く不斷の連續作業工程に於て製

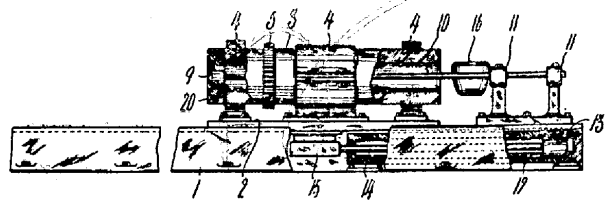
造せられたる異なる横断面形を有する鑄物の鑄造法に於て所望の長さ及一定の横断面の連鑄物部分が鑄造せられたる後に鑄造せられたる該連續鑄物部分の液狀押湯か他の一個の所望横断面に又は順次に他の數個の所望横断面に若くは反對に導かれ該横断面を以て更に所望の長さの連續鑄物部分を鑄造し全長に亘り横断面の異なる鑄物を連續的に鑄造する方法である。



遠心力鑄造管の冷却方法 (昭和 15 年特許出願公告第 1290 號, 公告 15-3-25, 東京, 杉山勝馬) 本發明は抽挿自在なる中筒に鑄砂内張を施したものを用ひて管の遠心力鑄造を行ふに際し熔湯の

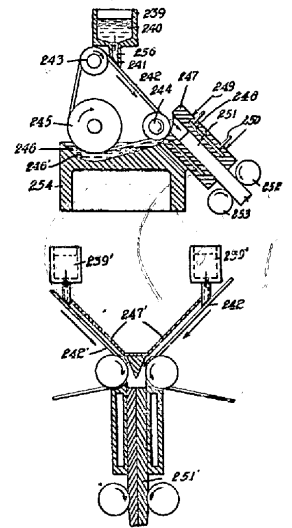
注入後之が廻轉中に於て速やかに鑄造管の内部に適宜水分を與へた細砂を投入し遠心力により鑄造管の内面に層着せしめ廻轉軸方向に中心孔を生ぜしめ該中心孔より水蒸氣並に發生するガスを噴出せしめつつ冷却する遠心力鑄造管の冷却方法に係るもので適宜水分を加減する事により冷却度を調節し硬度を任意になし得る特徴を有するものである。

鑄管装置 (昭和 15 年特許出願公告第 1291 號, 公告 15-3-25, 大阪, 住友金属工業株式会社) 本發明は圖に示す如く回轉しつつ摺動する鑄型内に軸杆によりて支持さるゝ頭部を鑄型の移行に伴ひ該

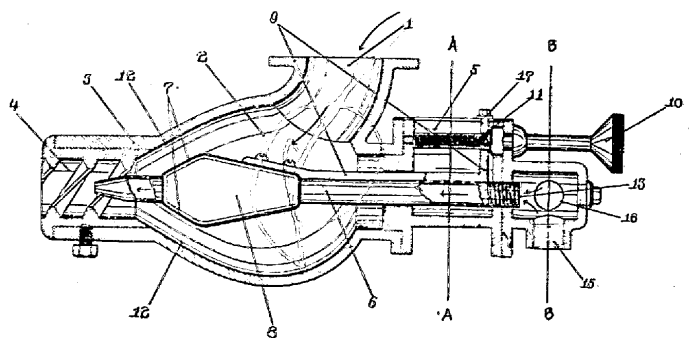


頭部によりて鑄成管の内面を順次強壓すべくした鑄管装置に係るもので遠心力鑄造と同時に鍛造をも行ふものである

熔融金属より金属製品を連續的に成形する装置 (昭和 15 年特許出願公告第 1292 號, 公告 15-3-25, 米國, ジョセフ, マルセル, メルル) 本發明は圖に示す如く運動支持面上に熔融金属の薄膜を形成し該運動薄膜を該金属の凝固點以下の所定温度に於ける准安定状態に過冷しこの過冷運動薄膜を無支持状態に於て連続移行せしめて前記准安定状態より自然結晶せる粒子を形成せしめ而してこの粒子より製品を製造するに當り前記薄膜を形成すべき運動支持面と該薄膜を所定温度に過冷する装置と前記薄膜を無支持状態に於て移動せしむべき装置と斯くして得たる粒子を衝突せしめて連続長を有する製品を形成すべき開底鑄型との結合より成る装置を使用すべくした熔融金属より得たる粒子にて金属製品を連續的に成形する装置に係るものである。



微粉炭燃焼装置用パーナ (昭和 15 年特許出願公告第 1338 號, 公告 15-3-27, 大阪, 株式会社旭微粉炭燃焼機製作所) 本發明は圖に示す如く上方に供給口を開設したる主室の前方に裝備室を連設して正面より火熱蒸氣供給管を主室に達する如く挿通固定し該火

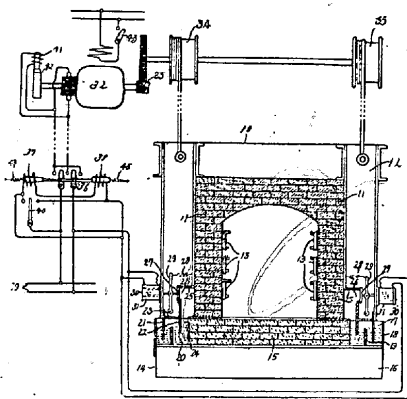


熱蒸氣供給管の外周には傾斜面を設けたる送出量調節弁を摺動自在に嵌装し該弁の運動指導杆を進退把手の螺杆に螺合して進退把手の

操作により送出量調節弁の進退運動を行ひ得べくし尙別に火熱蒸氣供給管の開閉口に合流すべくガス供給管並に空氣供給管を設けたバーナーに係るものである。

軸受合金 (昭和 15 年特許出願公告第 1372 號, 公告 15-3-27, 東京, 南澤義司) 本發明は Ni 0.1~6%, Ag 0.1~3%, Mn 0.01~2% と鉛 10~50%, Cu 45~85% より成る軸受合金に係るもので摩擦係數少なく硬度大で緻密強靱で高速機械用に好適なるものである

爐 (昭和 15 年特許出願公告第 1399 號, 公告 15-3-27, 東京芝浦電氣株式會社) 本發明は圖に示す如く加熱室と流動し得る材料を使用し該加熱室を密封する装置と該加熱室にガスを出入せしむる爲に設けたる通氣口と前記加熱室を動すと同時に該通氣口を開閉する装置とを具備した電氣加熱爐に係る。

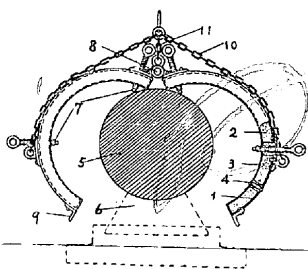


無鐵心低周波誘導

電氣爐 (昭和 15 年特許出願公告第 1400 號, 公告 15-3-27, 大阪住友電氣工業株式會社) 本發明は耐熱性容器中央の被加熱體裝入部の周圍に輪溝を設け該溝中に該被加熱體の作動溫度に比し高き沸騰點を有する電氣良導體を充填し該容器外周に加熱用線輪を捲回して成る無鐵心低周波誘導電氣爐に係るものである。

鋼其他の金屬燒入油 (昭和 15 年特許出願公告第 1433 號, 公告 15-3-30, 神奈川縣, 吉村又一郎) 本發明は炭素原子十個以上を有する脂肪屬高級アルコールを主成分とし必要に應じ之に礦物油を配合した燒入油に係るもので變質少く引火の危險も伴はぬ効果がある。

塊鋼冷却用蓋套の改良 (昭和 15 年特許出願公告第 1434 號, 公告 15-3-30, 神戸, 梅澤光三郎) 本發明は圖に示す如く高温鋼塊を包む蓋套を鋼板製二重壁とし其の兩壁間に鑄滓綿若しくは珪藻土河砂又は保溫煉瓦を充填し厚さ一樣なる層を形成せしめ且其の層の厚さを蓋套横斷面の外周の長さの 0.013~0.007 倍となした蓋套に係るもので冷却時の應力を小ならしめ龜裂を防止し得るの効果がある。

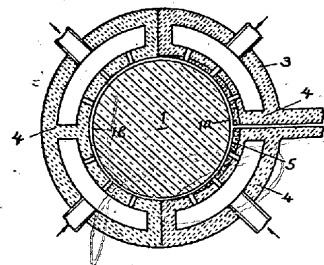


礫石より直接アルミニウムを精鍊する方法 (昭和 15 年特許出願公告第 1509 號, 公告 15-4-5, 滿洲輕金屬製造株式會社) 本發明はアルミニウム礫石に銅又は還元依り銅を生成する物質の存在に於て還元上必要なる量のコークスを加へ電氣爐内にて高温に加熱し礫石を還元して一旦アルミニウムを多量に含む銅合金を作り該合金を密閉爐で加熱しアルミニウムを蒸溜し凝縮採取する方法に係る

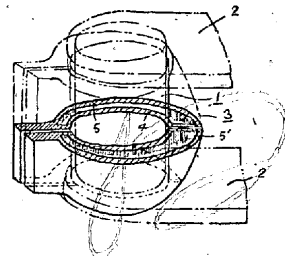
船底塗料用顔料 (昭和 15 年特許出願公告第 1586 號, 公告 15-4-10, 福岡, 片山龍郎) 本發明は砒素 4~44%, 銅 56~96%, 夾雜物として少量の鐵及硫黃等を含有した。砒素銅合金を每平方糎 10,000 篩目を通過する様な細末度となした船底塗料用顔料に係るもので船底防汚法に於て水銀を使用せずして優秀な防汚効果を有するも

のである。

表面燒入裝置 (昭和 15 年特許出願公告第 1605 號, 公告 15-4-10, 東京芝浦電氣株式會社) 本發明は被加熱材料及相對して之に加熱電流を誘起せしむる誘導子の上記材料隣接壁の一部を比較的高抵抗體にて置換した表面燒入裝置に係るもので一次電流を階段狀に分布せしめ其の分布中心の適切な變移により燒入所望部分のみを有效且均一に加熱し得るものである。

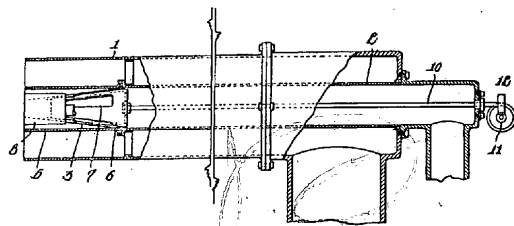


表面燒入裝置 (昭和 15 年特許出願公告第 1606 號, 公告 15-4-10, 東京芝浦電氣株式會社) 本發明は圖示せる如く被處理物品中心軸よりの距離を異にする如く該被處理物品を包繞する中空誘導子の一部外側壁を形成せしめ燒入裝置に係るものである。

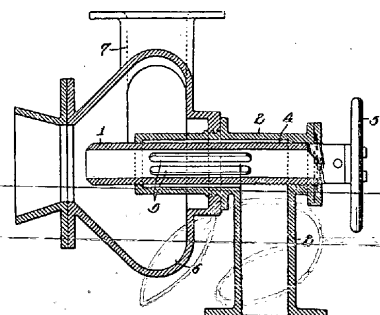


ガスバーナー (昭和 15 年特許出願公告第 1630 號, 公告 15-4-13 東京, 古屋野佐一) 本發明は圖に示す如くガス噴出管を圍繞して環狀空氣室を設け之に切線方向に空氣を供給すべくし該環狀室に空氣の放戻管

を設けたガスバーナーに係るもので空氣の旋回速度を一定に保持してガスと空氣との混成を良好ならしめ火焰の形狀を一定ならしめたものである。



ガスバーナー (昭和 15 年特許出願公告第 1631 號, 公告 15-4-13, 東京, 古屋野佐一) 本發明は圖示する如くガス噴出管を截頭圓錐形となして其の周壁に縱孔を穿ち此噴出管に同様に周壁に縱孔を穿つた同形の廻轉弁を嵌合せ前記噴出管の外部を圓筒形外管により圍繞したガスバーナーに係るものでガスの速度を一定に調節して燃燒量の多寡に拘らず常に一定長の火焰を保持しガス速度の減少に因る噴出口附近の過熱を防止しガス速度の増大に伴ふ吹切れを防止する効果がある。



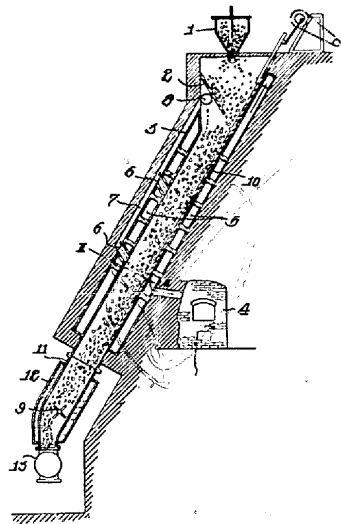
チタンの電氣鍍金法 (昭和 15 年特許出願公告第 1644 號, 公告 15-4-13, 逓信大臣) 本發明は三鹽化チタンを水に溶解し之に膠又はエチルアルコールを加へたものを電解液としてチタンを電鍍する方法に係るもので簡単な操作で堅牢且均一な鍍金層を得られるものである。

チタンの電氣鍍金法 (昭和 15 年特許出願公告第 1645 號, 公告 15-4-13, 逓信大臣) 本發明は珪弗化チタンの水溶液に膠又はエチルアルコールを加へ若しくは加へざるものを電解液とするチタン

の電気鍍金法に係るもので水溶液を使用し簡易に堅牢且均一な鍍金を得られるものである、

低温乾燥装置 (昭和 15 年特許出願公告第 1646 號, 公告 15-4-13, 東京, 金信平) 本發明は圖に示す如く乾燥の進行に伴ひ原料

が自然的に移行する如き傾斜又は垂直式の乾燥装置に於て乾燥筒の外部を圍繞して加熱爐の火焰を環流せしむべき螺旋狀通路を形成し其の外部に發生ガスの通路を設けて乾燥筒内部と所々に於て連通せしめ筒壁に沿ひ往復摺動板を設けた低温乾燥装置に係るもので原料の動力を利用して自働的に之を移送しつつ連続的に乾燥作用を行ひ以て動力を節約し特に操作中筒壁に原料の粘着停滯する事を防止し且火焰の螺旋狀環流によりて原料

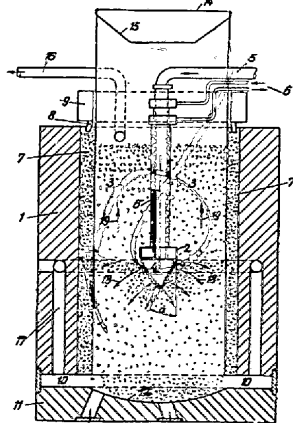


の移行中其炭化作用を平均に且最も有効に遂行し得るものである。

ガスの脱硫法 (昭和 15 年特許出願公告第 1647 號, 公告 15-4-13, 獨逸, ステューディエン, ウント, フェルウエルツングスゲゼルシャフト, ミット, ベシユレンクテル, ハフツング) 本發明は第一階程に於ける有機硫黄化合物の主要量の分解反應に際して生じた硫化水素を除去する前或は除去せる後第二階程に於ては第一階程にて使用せる比較的效力僅少な觸媒珠に金屬或は金屬化合物に依るも未だ分解せられざる有機硫黄化合物を特に有效なる觸媒珠にアルカリ或はアルカリ含有物質を以て 100~500°C に於て處理してガスの脱硫を行ふ方法であり高温に於て觸媒物質に依り有機硫黄化合物の主要量を除去し二階程にて一酸化炭素及水素を含有するガスより有機的に結合せる硫黄を完全に除去し得るものである。

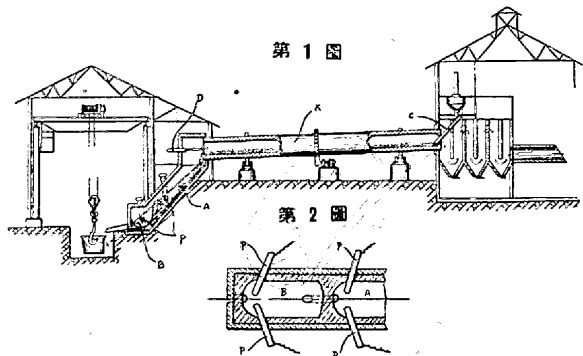
還元及其他の冶金的反應を行ふ堅爐 (昭和 15 年特許出願公告第 1650 號, 公告 15-4-13, 白耳義, ソシエテ, アノニメ, ジュー, デュモン, エ, フレル) 本發明は圖に示す如く爐の軸内又は略々軸内に於て炭素を非可融性の形態にて含有する裝入物質 (3)

又は (23) の略々中央に一個或は數個の圓形或は多角形の障礙體 (2) 又は (22) を設け該障礙體をして下方に運動せらるる裝入物質 (3) 又は (23) の各部分を自然の堆積角に従ひ調節せしめ之に依りて炭素含有の裝入物質内に轉倒圓錐形の形狀の一個又は數個の中空室 (4) 又は (24) を形成せしめ一方該障礙體 (2) 又は (22) の下方には各一個の管 (5) 又は (25) が開口する如くなし該管により専ら空氣又は酸素のみを加壓の下に中空室内に導入し圓錐形壁體に依り酸素又は空氣を炭素含有裝入物質 (3) 又は (23) 中に均等に分配壓入し燃焼還元熔融の過程を生起せしむる様なした冶金反應を行ふ堅爐に係るものである。



鐵鑛石の還元處理装置 (昭和 15 年特許出願公告第 1651 號,

公告 15-4-13, 東京, 伊藤專治) 本發明は圖に示す如く廻轉還元爐の一端には鐵鑛石と還元劑とを裝入する装置を設け其の他端には燃

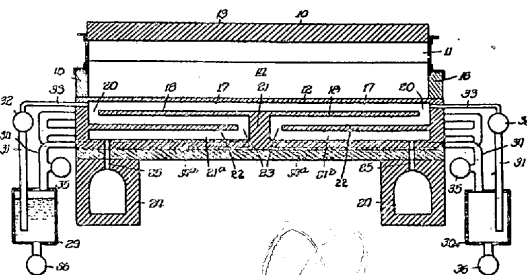


燒加熱装置並に電極を兩側より相對するが如く挿入して該電極間に電弧を發生せしむる様構成した任意數の電気熔解室を互ひに連通せしめて外氣より遮断せる傾斜爐内に設けた電気熔解装置を具備した鐵鑛石の還元装置に係るものである。

耐火煉瓦の製造方法 (昭和 15 年特許出願公告第 1653 號, 公告 15-4-13, 東京, 中野義定) 本發明は蛇紋岩を熔解し蛇紋炭を母岩とする含有鑛物を還元分離して金屬を精鍊抽出する際流出する熔鑛滓を冷却し該冷却鑛滓を粉碎して粉末としこれに結合劑として粘土及苦汁を加へ練り型打し乾燥した後燒成する耐火煉瓦の製造方法に依るものである。

乾炭窯の改良 (昭和 15 年特許出願公告第 1711 號, 公告 15-4-15, 米國, ター, エンド, ペトロリアム, プロセス, コムパニー)

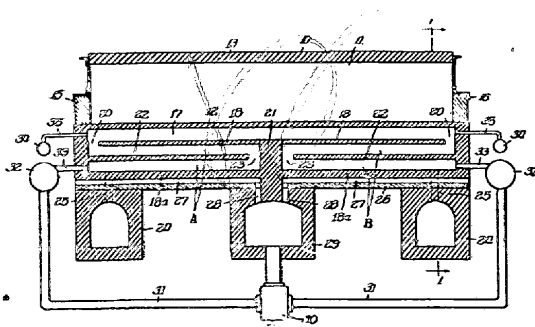
本發明は圖に示す如く二乃至數個の窯を備へ各窯は水平床を有しこの床



以下にて其全長に互り加熱焙路を設け焙路は窯の兩端に於て焙路へ空氣を送り又燃焼生成物を導く可き復熱室に連絡せらるるコークス窯に於て焙路の各端は窯の兩端にあるガス供給装置より脚壁を通じガスを移送する装置に連絡し又弁装置は窯の兩端にあつて焙路の一端とガス移送装置との間の連絡をなきしめ移送装置を流通するガス流の方向及焙路を通ずる焙傳播方向を調節する様構成したコークス窯に依るものである。

コークス窯の改良 (昭和 15 年特許出願公告第 1712 號, 公告 15-4-15, 米國, ター, エンド, ペトロリアム, プロセス, コムパニー)

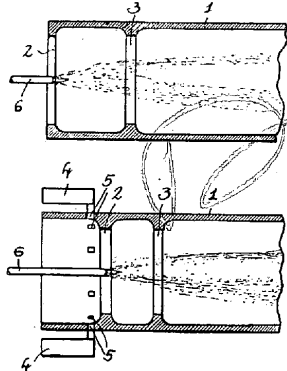
本發明は圖に示す如く床下に加熱焙路を設け焙路は床の全長に互つて存し窯の各端に於て一對の復熱室に開通し復熱室は窯の長さの中央にて互に距て月



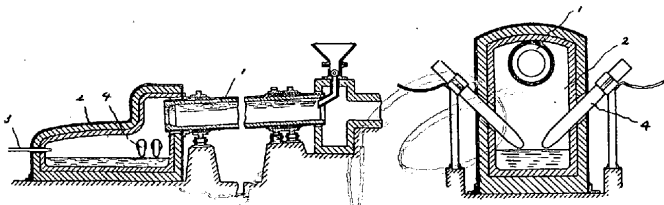
加熱熔路の下方及窯の基礎部の上方に存し又基礎部を貫通し或は其附近に數多の並行空氣通路を有し空氣通路は大氣に開通する外端及復熱器に連通する内端を有し前記内端には下降通路を有し下降通路は基礎部中の並行空氣通路間にて基礎部を下方へ貫通する様構成したコークス窯に係るものである。

鑛滓を利用した耐火セメントの製造方法 (昭和 15 年特許出願公告第 1654 號, 公告 15-4-13, 東京, 中野義定) 本發明は蛇紋岩を熔解し含有金屬を還元熔融し分離せる後の鑛滓を冷却し之を粉碎しこれに黒鉛粉末及高礬土質粘土粉末を加へ良く攪拌してセメントを製造する方法で耐火度高き特性を有するものである。

セメント廻轉窯及製練用廻轉爐 (昭和 15 年特許出願公告第 1715 號, 公告 15-4-15, 東京, 秩父セメント株式會社) 本發明は圖示する如く廻轉窯又は廻轉爐に於て燒塊鑛滓等の送込せらるゝ個所の直上部と夫より若干上方部との二個所にダムリングを並設し兩ダムリングの間に燒塊鑛滓等を滯溜せしむる様なした廻轉爐に係るものでロリングの形成を防止し操業を圓滑ならしむる効果がある。



金屬製鍊爐 (昭和 15 年特許出願公告第 1716 號, 公告 15-4-15, 東京, 日本ニッケル株式會社) 本發明は圖示せる如く廻轉管爐と熔融爐とを接続し該廻轉管爐より装入物が熔融爐に落下する位置に於て該熔融爐に特に加熱装置を具備せしめた金屬製鍊爐に係るものである。



ので装入物の移行を容易ならしめ以て連續操作を圓滑ならしめたものである。

バナヂウム鋼の製造法 (昭和 15 年特許出願公告第 1717 號, 公告 15-4-15, 東京, 梅津七藏) 本發明は廻轉管狀爐による砂鐵吹き含バナヂウム銑鐵の熔融せるものに脱炭劑として含バナヂウム砂鐵を使用し且仕上劑として第一回鑛滓の過半量を使用し更に其の殘量を脱炭劑アルミニウムに被覆せしめて使用するバナヂウム鋼の製造方法に係るものである。

珪酸ニッケル鑛より品位高きニッケル鐵を造る製鍊法 (昭和 15 年特許出願公告第 1718 號, 公告 15-4-15, 大阪, 小松原久治) 本發明は珪酸ニッケル粉鑛を二部に分けその一部に亞硫酸石灰, ニッケル分多きスラッグ及少量の石灰末を混合して加熱熔融する第一工程とかくして得たる鐵を粉碎し之に殘留の鑛石を混合して加熱熔融する第二工程との結合よりなる珪酸ニッケル鑛より鐵を製造する方法であり亞硫酸石灰を用ひて還元用石灰を節約しニッケルの損失を防止し貧鑛の處理を可能ならしめたものである。

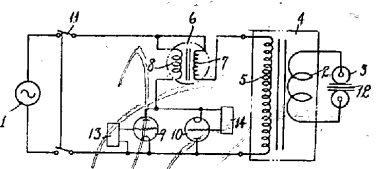
鑛石處理法 (昭和 15 年特許出願公告第 1719 號, 公告 15-4-15, 東京, 工業大學長) 本發明はニッケル, コバルト, 銅の一種又は二種以上を含有せる鐵鑛を適當な状態例へば亞酸化物に迄還元し之をアムモニウム性アムモニウム鹽溶液にて處理するに當て該處理を

空氣又は其他の酸化性物質に接せしめざる様行ふ方法に係るもので該處理中に空氣又は酸化性物質によつて鐵分及マンガン分が酸化され沈澱となつてニッケル及コバルト銅等の熔解を妨害する事を防ぎ其の熔出を完全ならしめたものである。

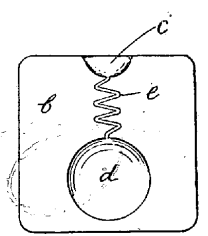
銅合金 (昭和 15 年特許出願公告第 1720 號, 公告 15-4-15, 東京, 古河電氣工業株式會社) 本發明は In 0.01~5%, 亞鉛 5~40% を含む銅合金に係るもので耐蝕性特に耐海水性大なるものである。

高級耐火煉瓦用シャモット製造法 (昭和 15 年特許出願公告第 1721 號, 公告 15-4-15, 名古屋, 河村吉三) 本發明はアルミナ 40% 以上の成分を有する岩石又は頁岩状態の耐火物質を 50~80% にアルミナ 30% 以上の成分を有する木節粘土を 50~20% を配合し適當の粒度に粉碎製坯せるものを窯内に於てニギリとして使用して耐火煉瓦用シャモットを製造する方法であり陶磁器燒成に附隨して高級耐火煉瓦用シャモットを最も經濟的に製造し且ニギリの收縮率を極小ならしめ陶磁器燒成中匣體積みの崩壊移動を防止し得るの效果がある。

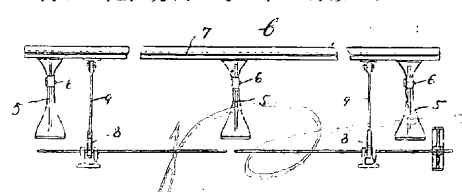
電氣抵抗熔接装置 (昭和 15 年特許出願公告第 1748 號, 公告 15-4-15, 大阪, 大阪電氣株式會社) 本發明は圖に示す如く二次捲線を熔接回路に直列にし該直列回路と並列に一次捲線を接続せる昇壓變成器と該一次捲線を電源回路に閉成せしむべき閉閉装置とを具備した熔接装置に係るもので熔接電流の振幅の變化を大ならしめ又閉閉装置の容量が熔接電力に比し小なるの特徴を有する。



鑄巢孔を生ぜざる鑄造方法 (昭和 15 年特許出願公告第 1770 號, 公告 15-4-17, 大阪, 福武新太郎) 本發明は圖に例示する如く熔融金屬の注入口より鑄型窩の上部に至る熔融金屬流入路をして成可細くし且之を横方向に多數迂回せしめた鑄型窩内に入る迄の金屬に多數の横方向の曲りを附與し速度を緩ならしめ且ガスを消滅せしめつつ鑄型窩の上部より徐々に少適量宛流入集積せしめ其集積毎に順次凝固状態にあらしめ最後注入の極少量の熔金の收縮凝固にて鑄造を完成せしむる鑄造法に係るものを巢の少ない特徴を有するものである。



中空チルドボール製造装置 (昭和 15 年特許出願公告第 1771 號, 公告 15-4-17, 大阪, 福武吉太郎) 本發明は二個の割型を合したる時外周面球形となり何れの直徑方向にも自在に轉動し得べく形成せられ且内部に中空球形の鑄造窩を生じ得べくした鑄型と傾動する傾動臺との組合せ



よりなり鑄型の鑄造窩内に熔融金屬を注入して其注入口を閉鎖し其鑄型を傾動臺上に追次供給する事により該鑄型を自由方向に轉動せしめつつ遠心力作用により熔融金屬を中空球形に凝固せしむべくした中空チルドボール製造装置に係るものである。

重ウラン酸曹達をウラニヴナヂフェラス砂鑛より得る, 方法の改良 (昭和 15 年特許出願公告第 1789 號, 公告 15-4-17, 東京, 大河平光雄) 本發明はウラニヴナヂフェラス砂鑛を曹達鹽物

質より成る焙焼劑と共に焙焼し該焙焼體を適量の曹達鹽を溶解せる抽出媒液中に投入し加熱攪拌してメタウナデン酸曹達とウラニル炭酸曹達との混合溶液を得該混合溶液を加熱しつゝ適量の苛性曹達を投入し次で食鹽を添加して液中に重ウラン酸曹達の沈澱物を得之を濾過採取する重ウラン酸曹達の採取方法に係るものである。

五酸化ウナチンをウナチン含有鑛石より取得する方法

(昭和 15 年特許出願公告第 1790 號, 公告 15-4-17, 東京, 大河平光雄) 本發明はウナチン含有鑛石を曹達鹽物質と共に焙焼し該焙焼體を曹達鹽を溶解せる抽出媒液中にて處理して得たるメタウナチン酸曹達の溶液を加熱攪拌しつゝ硫酸を注加して液を中性を経て更に酸性ならしめ該酸性液中に硝酸曹達又は酸性硫酸曹達との混合物を添加し五酸化ウナチンを凝析し之を濾過收取して成る五酸化ウナチンの採取方法に係るものである。

耐鹽酸ニッケル合金 (昭和 15 年特許出願公告第 1793 號, 公告 15-4-17, 金屬材料研究所長)

本發明は Fe 0.3~20.0%, Cr 0.5~30.0%, Mo 10.1~30.0%, Cu 2.0~5.0%, Co 0.5~20.0%, Mn 0.3~1.5%, S 0.3~1.5%, V 0.2~1.0%, C 1.0% 以下, 殘部 Ni を含有する耐鹽酸ニッケル合金に係るものでハステロイ A 合金よりも鹽酸に強く抗熱性高く食料品貯藏容器等に好適なるものである。

Al 又は其合金への電鍍豫備處理方法 (昭和 15 年特許出願公告第 1853 號, 公告 15-4-20, 東京, 鎌田照雄)

本發明は Al 又は其合金へ電鍍を施すに先立ち前後二工程に涉り豫備處理を行ひ其第一豫備處理工程に於ては水酸化ナトリウム熱溶液の如き脱脂液にて油脂其他の垢を除き第二工程に於ては鹽酸沃度アルコール, ピロ磷酸曹達及次硝酸蒼鉛又は醋酸鉛又は錫鹽を含む溶液にて被電鍍體面の酸化皮膜を除去し蒼鉛又は鉛又は錫の薄膜を生ぜしむる電鍍豫備處理方法に係るものである。

硫黄鑛の精鍊法 (昭和 15 年特許出願公告第 1855 號, 公告 15-4-20, 東京, 長塚順次郎)

本發明は硫黄鑛を二硫化炭素に依り加熱溶解して得たる溫溶液を攪拌機及假底兼濾過層を有する氣密冷水槽中に注入して攪拌しつゝ母液と晶出硫黄とに分離し母液を槽外に排出せる後水を適度に冷水槽内に殘し水蒸氣を注入して加熱し晶出硫黄中の二硫化炭素を迫出し殘存硫黄を水にて流出する硫黄鑛の處理法に係るもので二硫化炭素の回収を容易ならしめ硫黄を小粒子として晶出し且粒子の凝結する事をならしめたものである。

軸承合金 (昭和 15 年特許出願公告第 1856 號, 公告 15-4-20, 東京, 南澤義司)

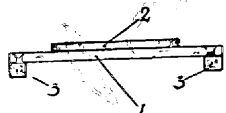
本發明は Cu 0.5~8.0%, Sn 50~95%, Sb 3~15%, Ni 0.1~3%, Mn 0.05~2%, Ag 1~3% よりなる軸承合金に係るもので硬度大で摩擦係數少なく緻密強靱にして均一なる爲特に高速機關係に適するものである。

特殊ベリリウム銅合金 (昭和 15 年特許出願公告第 1857 號, 公告 15-4-20, 金屬材料研究所長)

本發明は Ni 0.2~9%, Ag 0.1~5%, Be 0.1~3%, 残り銅よりなるベリリウム銅合金に係るもの著大なる時效硬化性を有し且導電性優秀なる爲電氣導管に好適なるものである。

鑄型製作用原型定盤 (昭和 15 年特許出願公告第 1908 號, 公告 15-4-27, 東京, 博見哲太郎)

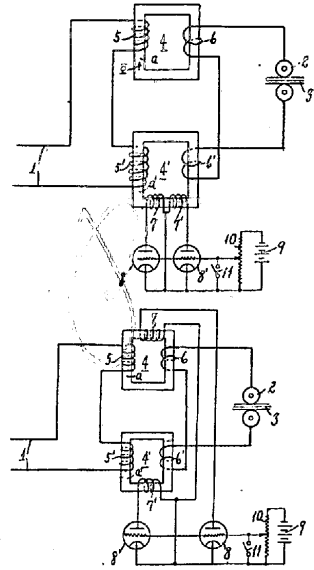
本發明は圖示する如く鑄物原型を硝子セルロイド等の如き透明定盤に附着せしめて一體たらしめた定盤に係るもので原型と砂型との關係を定盤を通して裏面より觀察しつゝ型上げを行ひ以て砂型の崩れを未然に防止するの特徵を有する



ものである。

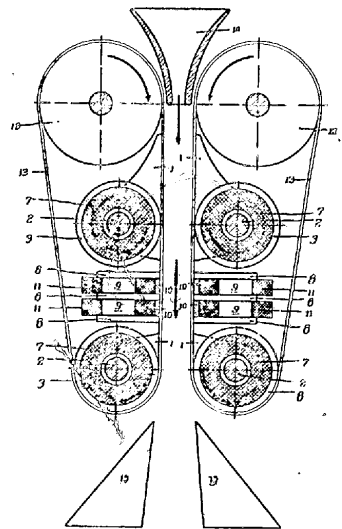
電氣抵抗熔接裝置 (昭和 15 年特許出願公告第 1883 號, 公告 15-4-20, 大阪電氣株式會社)

本發明は圖に示す如く變壓器の一次捲線は二分せられて直列に交流電源回路に挿入せられ該一次捲線部分に誘導的に設けたる二個の二次捲線部分を直列に接続して熔接回路に挿入し之等は相等しき電壓を發生するも極性を異にする如く配置せられ一方の二次捲線部分に對應する三次捲線を格子制御放電管にて短絡せしむる事により一方の二次誘起電壓を消勢し他方の二次誘起電壓を倍化すべくした電氣抵抗熔接裝置に係るものである。



砂鑛用磁石選鑛裝置 (昭和 15 年特許出願公告第 1887 號, 公告 15-4-20, 東京, 大西立二)

本發明は圖に示す如く一對の取附枠を間隙を存して設置し該取附枠の上下に縦に且異極を交互に配置せる電磁石を懸架し上方の該電磁石上に設けたる調車と下方の電磁石側の轉子とにベルトを懸架し該ベルト間に供給せる磁性體を先づ上方の電磁石にてベルトに吸着し該磁性體を前記電磁石間に之の磁束回路と異なる磁束回路を形成する様電磁石を配置し該電磁石の磁束にて瞬間的に釋放し之を更に吸着し次に下方の電磁石側に於て瞬間的に釋放吸着を行ひ其釋放吸着を行ひ其釋放吸着に於て磁性體を搖動し以て磁性體と非磁性體とを選別する様構成した磁選機に係るものである。



直接還元にて製せられし海綿鐵或は還元鑛石に依る電氣製鐵法 (昭和 15 年特許出願公告第 1933 號, 公告 15-4-27, 南滿洲鐵道株式會社)

本發明は固態の還元物質に依りて先づ 3~30mm の粒狀の鐵分 60% 以上の富鐵石を低温にて直接還元し還元率 30~89% の一部海綿鐵となし然る後斯くして得たる還元鑛石或は海綿鐵を別に粉碎處理等を行ふ事なく磁力又は風力により分別し次に之を電氣爐にて二次還元をなし精鍊する方法である。

ニッケル合金の改良 (昭和 15 年特許出願公告第 1935 號, 公告 15-4-27, 金屬材料研究所長)

本發明は Si 3~10%, Ni 70~95%, Fe 2~27% を含有せる合金を 1,000~1,120°C にて水中焼入し又 550~700°C にて焼戻しを行ふ事を特徵とするニッケル合金に係るもので硬化性大で高温硬度大にして更に耐蝕性大なるの特徵を有するものである。

特許抜萃

特許 番號	名 稱	特許權者	公 告 抜 萃			
134133	高周波原鍍還元爐	日本高周波重工業株式會社	25-10	134594	燒炭硬化性銅合金	古河電氣工業株式會社 25-11
134166	鐵管に鉛管を又は鐵板に鉛板を裏張りする方法	石倉啓丞	25-9	134603	金屬合金金屬化合物其他氣化の困難なる類似物質の氣化方法	ルードルフ、マイエア 25-11
134230	白金及パラジウム回收法	日本鍍業株式會社	25-10	134606	粗白金より純白金を得る方法	株式會社徳力本店 25-7
134242	珪素を含有する銅合金のハンダ鍍着用熔劑	三菱重工業株式會社	25-10	134619	マグネシウム又は其合金の防蝕方法	金屬材料研究所長 25-12
134248	銅球體製造裝置	山根勝	25-9	134623	鉛粉製造法	遞 信 大 臣 25-12
134286	熔接機に於ける熔接部加壓裝置	阿部嘉藏	25-11	134630	鐵鋼類の防銹處理法	太 田 千 代 司 25-11
134219	電氣抵抗爐	沖本希三	25-9	134647	金屬壓出裝置の改良	ダブリュー、エー、グロバー、エンドコムパニー、リミテッド 25-12
134394	鐵鋼の着色防錆法	幸田文輔	25-11	134672	金屬品の清淨後銹の發生を防止する處理方法	ユーナイテッド、エンヂニア、リング、エンド、フアウドン、コムパニー 25-11
134408	金屬マグネシウムの製造法	南滿洲鐵道株式會社	25-8	134673	鍍水の加硫收銅法	日本鍍業株式會社 25-11
133918	金銀混汞裝置	村上友記	25-8	134674	鐵礦石の還元方法	日本特殊鋼管株式會社 25-12
133964	引拔鋼管製造法の改良	エミリオ、ツヴオラク	25-10	134675	廻轉管狀爐に於ける湯出口開閉裝置	〃 〃 25-12
133978	管の銅鍍法	マツトホイス、ブラウン	25-10	134697	貧鐵礦の粒化選鍍法	南滿洲鐵道株式會社 25-12
133981	還元鐵製造方法	財團法人理化學研究所	25-10	134698	濕式磁力選鍍法の改良	〃 〃 25-12
134002	補強筋入中空チルドボール遠心力鑄造法	中谷 次作 外一名	25-9	134699	鐵礦石の特殊浮游選鍍法	〃 〃 25-12
134003	珪素鐵製造用受鋼のライニング	前 田 清 作	25-10	134713	縫合銲接機	三菱電機株式會社 25-12
134018	アルミニウム鑄塊鑄造裝置	大 河 原 碌 々	25-9	134730	砒化ニツケル鍍よりニツケルスパイスを製造する方法	古河電氣工業株式會社 25-12
134030	鉛を鐵鋼ニツケル及夫等の合金に接着する方法	小 笠 原 常 道	—	134734	アルミニウムガス熔接用煤劑	邊 邊 繁 松 25-11
134045	鋼球代用チルド球製造法	野 一 色 義 明	25-10	134750	アルミニウム又は其の合金表面に酸化皮膜を形成する方法	鶴 田 將 25-12
134409	酸化マグネシウム含有物質より金屬マグネシウム製造法	南滿洲鐵道株式會社	25-8	134760	廻轉窯に於けるリング除去方法	大阪窯業セメント株式會社 25-12
134417	鐵を黒色に着色する改良法	エー、ビー、マンニン グエンドコムパニー	25-10	134822	熔鑄爐出口の止栓	石 塚 幸 次 郎 25-10
134441	電氣衝合熔接方法	大阪變壓器株式會社	25-10	134826	銀合金	航 空 研 究 所 長 25-12
134485	融着性合金	東京工業大學長	25-11	134884	洋銀代用合金	金屬材料研究所長 25-12
134529	遠心力鑄造管の冷却方法	杉 山 勝 馬	—	134891	電氣抵抗熔接裝置	大阪電氣株式會社 25-11
134536	アルミニウム合金厚肉材の燒入効果を均一化する方法	航 空 研 究 所 長	25-11	134892	電氣抵抗熔接方法	〃 〃 25-10
134537	活字合金鍍滓より完全に地金を回收する方法	金屬材料研究所長	25-12	134897	金屬壓出機	ダブリュー、テー、グロバー、エンド、コムパニー、リミテッド 25-12
134540	ニツケル合金の改良	〃 〃	25-11	134989	連續鑄造裝置	ジューグフリード、ユングハンス 〃
134548	鐵管接續方法	辻 藤 吉	—	135018	モリブデン精練裝置	鈴 木 精 次 25-12
134567	銲接裝置	シーメンス、シュツケルトウエルケ	25-10	135036	鍛鍊用強力輕合金	住友金屬工業株式會社 25-11
134576	磁性を有せざる酸化鐵礦石を均一磁化せしむる方法	株式會社昭和製鋼所	25-11	135058	マグネシウム及マグネシウム合金鑄造開鑄型材料	ジャン、バプチスト デュラン 25-3